

## 平成27年度実施 市街地小中学校の適正配置に関わるアンケート調査結果

### ◆アンケート調査の背景

全国的な少子化の進展に伴い、根室市においても児童生徒数は減少の一途をたどっております。

本年7月に策定された「根室市人口ビジョン」においても今後もこの傾向は避けられないものと想定されており、その結果、学校の小規模化が進み、児童生徒の学校における人間関係や教職員の配置数など、教育環境の面で様々なデメリットが予想されます。

根室市教育委員会では、児童生徒の減少に対応し充実した教育環境を確保するため、平成23年度に策定した「根室市小中学校適正配置計画」に基づき、これまで、市街地以外の小中学校について適正配置を進めてまいりました。

しかし、児童生徒のさらなる減少や学校施設の老朽化、市内高等学校の統合の推進など状況の変化がありましたことから、市街地の小中学校につきまして、適正配置計画の見直しを行うことと判断したところであります。

この計画の見直しにあたり、市民の皆様から広くご意見を伺い、適正配置計画策定の参考とするため、アンケート調査を実施したものであります。

### ◆アンケート調査の対象者

アンケートの対象者は、市街地を3校区（北斗小学校・柏陵中学校区、花咲小学校・啓雲中学校区、成央小学校・花咲港小学校・光洋中学校区）に分け、次の考えに基づき設定いたしました。

#### ①保護者世帯

学校区毎に15歳以下の子どもがいる世帯の50%を無作為抽出 619世帯（37.4%）

#### ②一般市民

学校区毎に「①保護者世帯」以外の世帯の10%を無作為抽出 1,038世帯（62.6%）

合 計 1,657世帯

### ◆アンケート調査の回答世帯数及び回収率

アンケートの回収率については、郵送が未達であった9世帯を除く1,648世帯を分母とします。

回答者は415世帯で、世帯区分毎の回答割合を見ますと保護者世帯が31.0%となっており、一般市民より9.3ポイントも高かったことから小中学校に適正配置に関し保護者の関心の高さが窺えます。

#### ①保護者世帯

回答者 192世帯 ÷ 対象世帯 619世帯 = 31.0%

#### ②一般市民

回答者 223世帯 ÷ 世帯対象 1,029世帯 = 21.7%

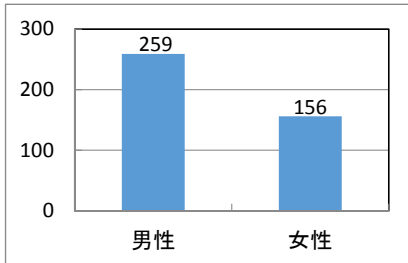
#### ③合 計

回答者 415世帯 ÷ 対象世帯 1,648世帯 = 25.2%

## ◆アンケート回答者の構成

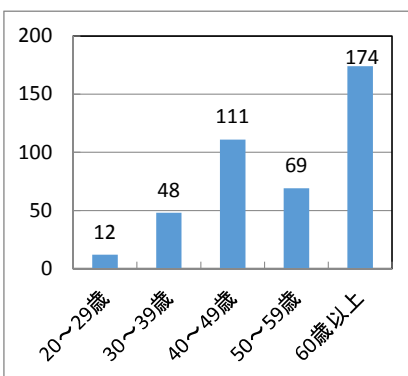
アンケート回答者の男女構成比は、男性が6割を超えており、女性が4割弱となっています。

年齢別では、抽出の率は学校区毎に10%と低いものの、一般市民（15歳以下の子どもがいない世帯）の調査対象者数が多いことから60歳以上の方が一番多く、次いで40歳代の方となっています。校区別の回答者の居住地では、ほぼ均等の割合となっています。



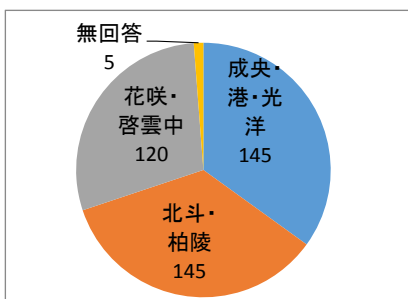
【問1】あなたの性別を教えてください。

	人数	割合
男性	259	62.4%
女性	156	37.6%
不明	0	0.0%
計	415	100.0%



【問2】あなたの年齢を教えてください。

	人数	割合
20~29歳	12	2.9%
30~39歳	48	11.6%
40~49歳	111	26.7%
50~59歳	69	16.6%
60歳以上	174	41.9%
無回答	1	0.2%
計	415	99.9%



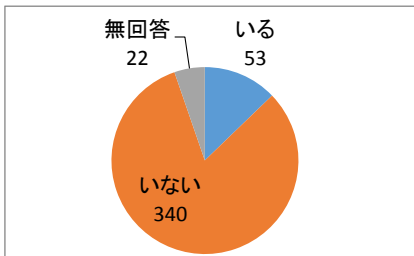
【問3】あなたの居住地区を教えてください。

	人数	割合
成央小・花咲港小・光洋中学校区	145	34.9%
北斗小・柏陵中学校区	145	34.9%
花咲小・啓雲中学校区	120	28.9%
無回答	5	1.2%
計	415	99.9%

◆アンケート回答者のお子さんの状況

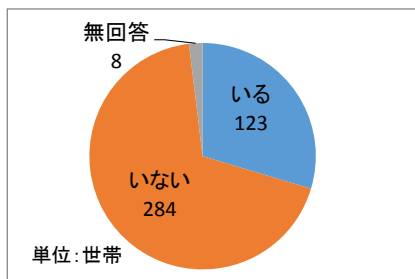
全体のアンケート調査回収率と比べて保護者世帯（15歳以下の子どもがいる世帯）からの回収率は31.0%と5ポイント以上高くなっており、小中学校の適正配置に対する保護者の関心の高さが窺えます。

また、調査対象者とした1,657世帯のうち保護者世帯の割合は37.4%ですが、全体の回答者のうち保護者世帯は192世帯で46.3%となっており、ここでも同様の結果となっています。



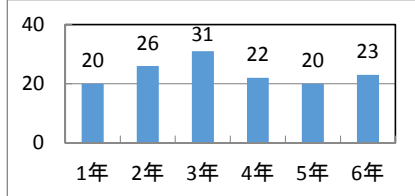
【問4】ご家庭に小学校にあがる前のお子さんはいますか。

	人数	割合
いる	53	12.8%
いない	340	81.9%
無回答	22	5.3%
計	415	100.0%

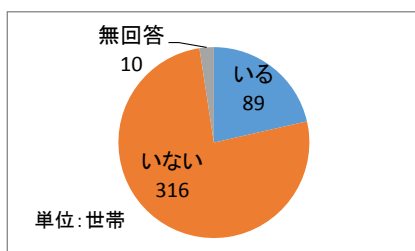


【問5】ご家庭に小学校のお子さんはいますか。

	人数	割合
1年生	20	4.6%
2年生	26	6.0%
3年生	31	7.1%
4年生	22	5.1%
5年生	20	4.6%
6年生	23	5.3%
いない	284	65.4%
無回答	8	1.8%
計	434	99.9%

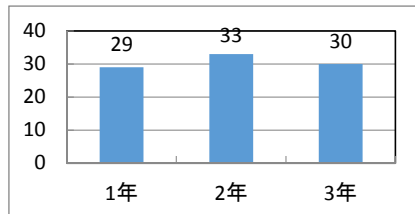


※1世帯に複数のお子さんがいらっしゃるため計が415とならない



【問6】ご家庭に中学校のお子さんはいますか。

	人数	割合
1年生	29	6.9%
2年生	33	7.9%
3年生	30	7.2%
いない	316	75.6%
無回答	10	2.4%
計	418	100.0%



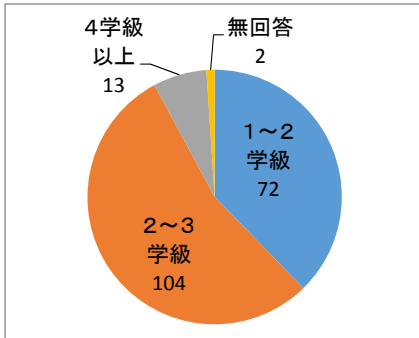
※1世帯に複数のお子さんがいらっしゃるため計が415とならない

◆アンケート回答者の望ましいと考える学校規模に関する意見

①保護者世帯

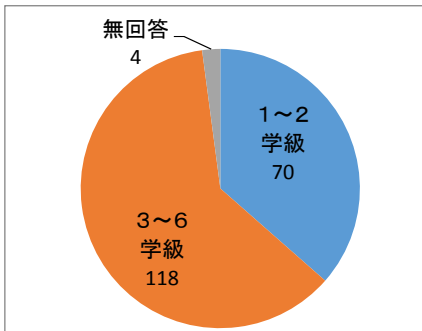
保護者世帯で見ますと、小学校で1学年2～3学級（標準規模）以上の学校を望ましいと考えられている方は61.0%となり、次いで1学年1～2学級（小規模）を望ましいと考えられている方は37.5%となりました。

中学校については、1学年3～6学級（標準規模）が望ましいと考えられた方は61.5%となり、1学年1～2学級（小規模）を望ましいと考えられている方は36.5%であったことから、小中学校ともに標準規模以上の学校が望ましい学校規模であると考えの方が6割以上を占めていました。



【問7】 将来望ましいと考える市街地地区の学校規模を選んでください。【小学校】

	人数	割合
1学年1～2学級（小規模）	72	37.5%
1学年2～3学級（標準規模）	104	54.2%
1学年4学級以上（大規模）	13	6.8%
無回答	3	1.6%
計	192	100.1%



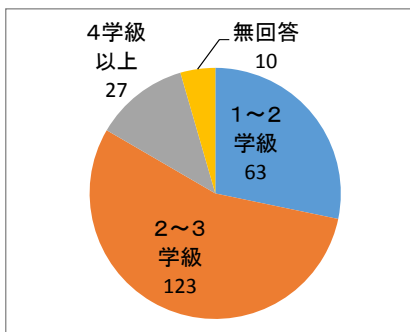
【問7】 将来望ましいと考える市街地地区の学校規模を選んでください。【中学校】

	人数	割合
1学年1～2学級（小規模）	70	36.5%
1学年3～6学級（標準規模）	118	61.5%
無回答	4	2.1%
計	192	100.1%

②一般市民

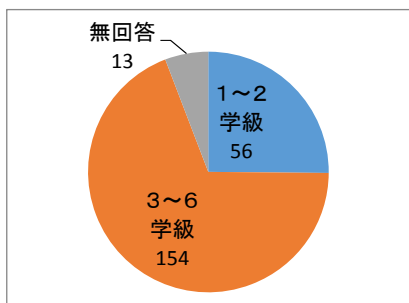
一般市民で見ますと、小学校で1学年2～3学級（標準規模）以上を望ましいと考えられている方は67.3%となり、1学年1～2学級（小規模）の学校を望ましいと考えられている方は28.3%となりました。

中学校については、1学年2～3学級（標準規模）を望ましいと考えられている方は69.1%となり、1学年1～2学級（小規模）の学校が望ましいと考えられた方は25.1%と小中学校ともに標準規模の学校が望ましい学校規模であると考えの方が7割弱を占めていたことから、一般市民の方々がより標準規模以上を望ましいと考えられています。



【問7】 将来望ましいと考える市街地地区の学校規模を選んでください。【小学校】

	人数	割合
1学年1～2学級（小規模）	63	28.3%
1学年2～3学級（標準規模）	123	55.2%
1学年4学級以上（大規模）	27	12.1%
無回答	10	4.5%
計	223	100.1%



【問7】 将来望ましいと考える市街地地区の学校規模を選んでください。【中学校】

	人数	割合
1 学年 1～2 学級（小規模）	56	25.1%
1 学年 3～6 学級（標準規模）	154	69.1%
無回答	13	5.8%
計	223	100.0%

#### ◆アンケート回答者の望ましい学校規模の選択理由

アンケート回答者が適切な学校規模として選んだ理由は、小中学校ともおおむね同様の内容となっています。

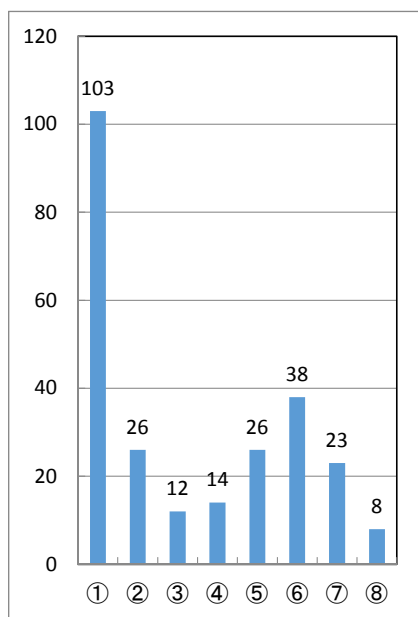
##### ① 1 学年 1～2 学級（小規模）に対する考え

1 学年 1～2 学級（小規模）を適正規模と考えられた方のうち、「一人一人に目が行き届き、ゆとりのある指導ができる」又は「教員と児童生徒との心理的な距離が近い」、「保護者や地域との連携に理解が得られやすい」と回答された方が多い（66.8%）ことから、小規模校に対し『きめ細かな教育を受けることができる』と考えている様に思われます。

また、「学校行事等の係や役割分担などで、一人一人が活躍する場や機会が多い」と回答された方が10.4%を占めており、児童に活動の場を多く与えることが必要と考えている様に思われます。

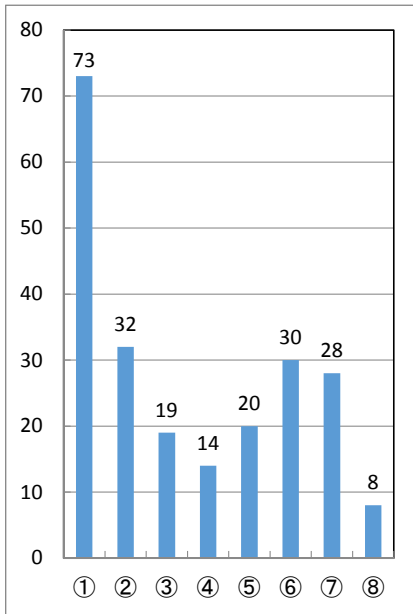
##### ② 小学校では 1 学年 2～3 学級又は 4 学級以上、中学校では 1 学年 3～6 学級に対する考え

標準規模若しくは標準規模以上の学校を望ましいと考えられた方の多くは、「クラス同士や子ども同士が切磋琢磨する環境の中で、意欲や成長が引き出される」、「集団生活の中で、社会性や協調性、コミュニケーション能力などを養う機会に恵まれる」を選択された方が46.0%を占めており、学校に対し協調性や良い意味での競争意識の向上など社会に必要な能力が養われることを期待している方が多いと思われます。



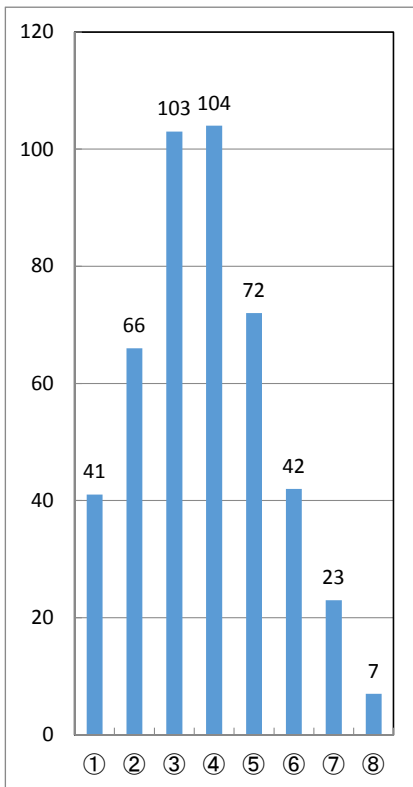
【問8】 問7で「1 = 1 学年 1～2 学級（小規模）」を選ばれた理由を2つまでお聞かせください。【小学校】

	人数	割合
①一人一人に目が行きとどき、ゆとりのある指導ができる	103	41.2%
②学校行事等の係や役割分担などで、一人一人が活躍する場や機会が多い	26	10.4%
③交友関係が親密になる	12	4.8%
④学年を超えて交友関係が広がる	14	5.6%
⑤保護者や地域社会との連携に理解が得られやすい	26	10.4%
⑥教員と児童生徒の心理的な距離が近い	38	15.2%
⑦学校の伝統や地域コミュニティの核などとして重要である	23	9.2%
⑧その他	8	3.2%
計	250	100.0%



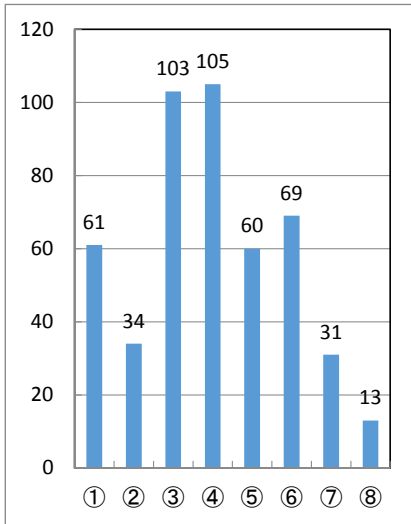
【問8】問7で「1 = 1 学年 1～2 学級（小規模）」を選ばれた理由を2つまでお聞かせください。【中学校】

	人数	割合
①一人一人に目が行きとどき、ゆとりのある指導ができる	73	32.6%
②学校行事等の係や役割分担などで、一人一人が活躍する場や機会が多い	32	14.3%
③交友関係が親密になる	19	8.5%
④学年を超えて交友関係が広がる	14	6.3%
⑤保護者や地域社会との連携に理解が得られやすい	20	8.9%
⑥教員と児童生徒の心理的な距離が近い	30	13.4%
⑦学校の伝統や地域コミュニティの核などとして重要である	28	12.5%
⑧その他	8	3.6%
計	224	100.1%



【問8】問7で「2 = 1 学年 2～3 学級（標準規模）」「3 = 1 学年 4 学級以上（大規模）」を選ばれた理由を2つまでお聞かせください。【小学校】

	人数	割合
①チーム・ティーチングやグループ別指導、習熟度別指導など、多様な指導ができる	41	9.0%
②クラス替えがあり、交友関係が広がる	66	14.4%
③クラス同士や子ども同士が切磋琢磨する環境の中で、意欲や成長が引き出される	103	22.5%
④集団生活の中で、社会性や協調性、コミュニケーション能力などを養う機会に恵まれる	104	22.7%
⑤球技や合奏・合唱、運動会・文化祭・遠足等の集団活動・行事に制約が少なく活気がある	72	15.7%
⑥多様な部活動（少年団活動）が選択でき、活動の幅が広がる	42	9.2%
⑦いじめが起きた場合などに、クラス替えなど、きめ細かな対応ができる	23	5.0%
⑧ その他	7	1.5%
計	458	100.0%



【問8】問7で「2 = 1学年2～3学級（標準規模）」「3 = 1学年4学級以上（大規模）」を選ばれた理由を2つまでお聞かせください。【中学校】

	人数	割合
1 多様な指導ができる	61	12.8%
2 クラス替えができ交友関係が広がる	34	7.1%
3 意欲や成長が引き出される	103	21.6%
4 社会性・協調性を養える	105	22.1%
5 行事の制約が少なく活気がでる	60	12.6%
6 多様な部活動が選択できる	69	14.5%
7 いじめが起きた時にクラス替えができる	31	6.5%
8 その他	13	2.7%
計	476	99.9%

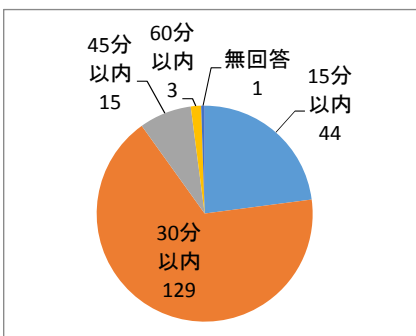
◆アンケート回答者の通学に対する考え

①保護者世帯

保護者世帯を見ますと、児童生徒に負担が少ない通学時間について30分以内と回答された方が67.2%と多く、次いで15分以内と回答された方が22.9%であったことから、多くの方が通学に30分以上かかることは、児童生徒に負担がかかると考えられているようです。

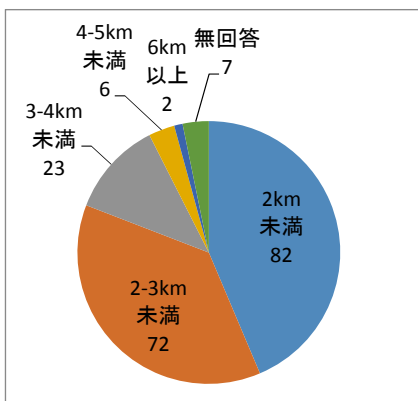
また、通学距離については、徒歩の場合で2km未満が42.7%、3km未満は37.5%と多くなっており、概ね3kmまでが望ましいと考えられているようです。

スクールバスやJR等の交通用具を用いた場合は6km以上となっても良いと考える方の割合が多くなっております。



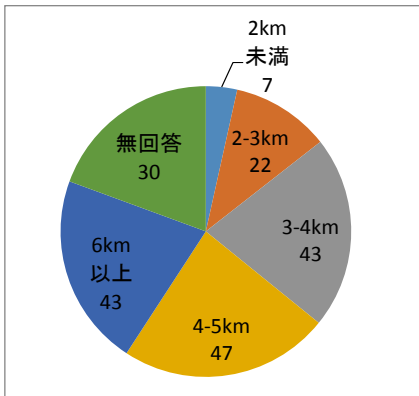
【問9】小中学生の通学時間はどの程度が限度と考えますか。

	人数	割合
1 5分以内	44	22.9%
2 30分以内	129	67.2%
3 45分以内	15	7.8%
4 60分以内	3	1.6%
無回答	1	0.5%
計	192	100.0%



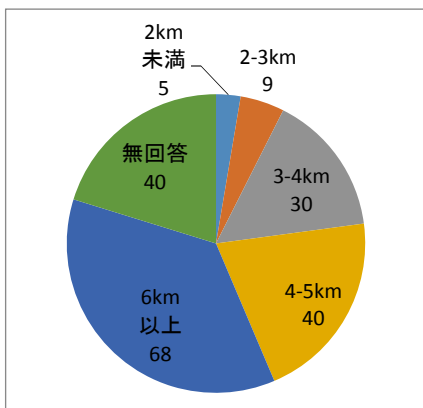
【問10】小中学生の通学距離はどの程度が限度と考えますか。【徒歩】

	人数	割合
2km未満	82	42.7%
2～3km	72	37.5%
3～4km	23	12.0%
4～5km	6	3.1%
6km以上	2	1.0%
無回答	7	3.6%
計	192	99.9%



【問10】小中学生の通学距離はどの程度が限度と考えますか。【スクールバス】

	人数	割合
2 km未満	7	3.6%
2～3 km	22	11.5%
3～4 km	43	22.4%
4～5 km	47	24.5%
6 km以上	43	22.4%
無回答	30	15.6%
計	192	100.0%



【問10】小中学生の通学距離はどの程度が限度と考えますか。【JR・路線バス】

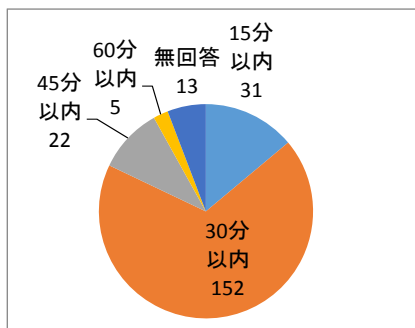
	人数	割合
2 km未満	5	2.6%
2～3 km	9	4.7%
3～4 km	30	15.6%
4～5 km	40	20.8%
6 km以上	68	35.4%
無回答	40	20.8%
計	192	99.9%

## ②一般市民

一般市民を見ますと、児童生徒に負担が少ない通学時間について30分以内と回答された方が68.2%と多く、次いで15分以内と回答された方が13.9%であったことから、多くの方が通学に30分以上かかることは、児童生徒に負担がかかると考えられているようです。

また、通学距離については、徒歩の場合で2km未満が34.5%、3km未満は31.8%と多くなっており、概ね3kmまでが望ましいと考えられているようです。

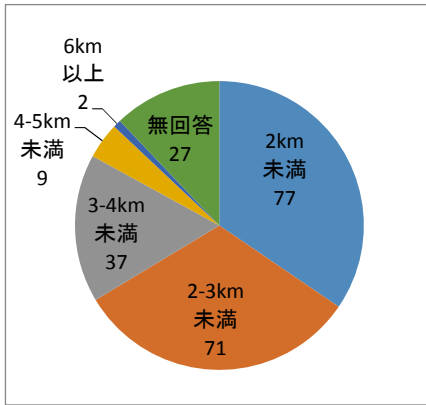
スクールバスやJR等の交通用具を用いた場合は6km以上となっても良いと考える方の割合が多くなっております。



【問9】小中学生の通学時間はどの程度が限度と考えますか。

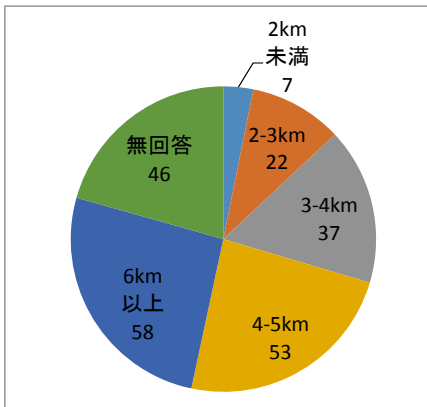
	人数	割合
15分以内	31	13.9%
30分以内	152	68.2%
45分以内	22	9.9%
60分以内	5	2.2%
無回答	13	5.8%
計	223	100.0%





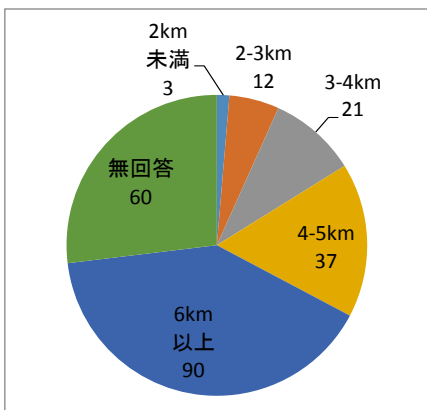
【問10】小中学生の通学距離はどの程度が限度と考えますか。【徒歩】

	人数	割合
2 km未満	77	34.5%
2～3 km	71	31.8%
3～4 km	37	16.6%
4～5 km	9	4.0%
6 km以上	2	0.9%
無回答	27	12.1%
計	223	99.9%



【問10】小中学生の通学距離はどの程度が限度と考えますか。【スクールバス】

	人数	割合
2 km未満	7	3.1%
2～3 km	22	9.9%
3～4 km	37	16.6%
4～5 km	53	23.8%
6 km以上	58	26.0%
無回答	46	20.6%
計	223	100.0%



【問10】小中学生の通学距離はどの程度が限度と考えますか。【JR・路線バス】

	人数	割合
2 km未満	3	1.3%
2～3 km	12	5.4%
3～4 km	21	9.4%
4～5 km	37	16.6%
6 km以上	90	40.4%
無回答	60	26.9%
計	223	100.0%

## ◆アンケート結果を踏まえて

アンケートの結果を見ますと、学校規模に関しては教育委員会が示しました小学校「1学年あたり2～3学級」、中学校「1学年あたり3～6学級」との回答が大半を占めていることから、保護者、一般市民の皆様いずれも適正規模の必要性を感じているものと考えられます。

しかし、「1学年1～2学級（小規模校）」を適切な学校規模と選択した理由の中には、『きめ細かな教育を受けることができること』と回答されている方が多く、こうした意見にも配慮しながら、既に取り組んでいます少人数学級の実践や学力向上等補助教員の配置による習熟度別授業の実施などにより、きめ細かな教育の実施についても更に推進する必要があると考えます。

通学に関しては、児童生徒に負担が少ない通学時間については30分以内、通学距離については概ね3kmまでが望ましいと考えられているようですが、スクールバスやJR等の交通用具を用いた場合は6km以上となっても良いと考える方の割合が多くなっていることから、児童生徒の安全性を第一に考えられているように思われます。

また、一般市民に比べ、保護者世帯の方が短い通学距離を望んでいることから、子どもたちの通学に直接影響があるからではないかと思われ、適正配置の推進にあたり、学校規模と併せ適切な通学方法を検討する必要があります。

今回のアンケート結果を参考に、根室市教育委員会では新たな「根室市小中学校適正配置計画」の策定を進めてまいります。

アンケートに御協力いただきました市民の皆様には、お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

## ※本集計結果に関する注意事項

- ①各質問の相対度数にかかる端数については、小数点第3位までを四捨五入し、恣意的操作とならないよう各回答ごとの端数処理をしていないことから、割合欄の合計が100%とならない場合があります。